

<トマトの生理障害対策のための現地調査を行いました>

当研究所では今年度から新たに農業技術センター、農業経営課、飛騨農林事務所と連携し、「清流の国ぎふの強みを活かしたブランド農畜産物ナンバー1プロジェクト」として、地域の主要品目である夏秋トマトの生産性を向上させる研究課題に着手しました。この課題の中では現場で問題となっている生理障害「葉先枯れ症」対策にも取り組んでいます。その一環として去る7月14日、15日の両日、全関係機関で協力して現地実態調査と試料採取を行いました。今後農家への聞き取り調査や土壌・葉の化学分析を行い、原因と対策を探ってゆきます。



「葉先枯れ症」の代表的な症状



現地での調査風景